

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:山形県酒田市

1. 事業名	酒田市地域女性活躍推進事業
2. 実施期間	平成30年4月17日 ~ 平成31年3月4日
3. 事業の趣旨・目的	本市においては、女性の就業率は上がってきているが、非正規雇用者の割合が高く、平均賃金も低い。管理職の割合も低い。事業主に対する働きかけが重要であり、引き続き酒田市女性活躍推進懇話会において情報を共有し、本市に合った効果的な事業を協議し連携して推進していく。また、働く女性、働きたい女性のスキルアップ、キャリアアップ等多様なチャレンジを支援するフォーラムの開催に関しても同懇話会で協議し、より効果的な内容を検討し開催する。女性がキャリアを継続し活躍できる環境を整えていくことにより地域社会の活性化を図るため、官民一体となって事業を推進するものである。
4. 事業内容	女性活躍を推進するため体制整備や環境整備を総合的に進めた。 ①女性活躍推進事業/女性活躍を推進するためには、市のみならず国、県、経済団体等官民一体となって本市の現状を共有しながら効果的な事業を協議し、実施していく必要がある。そのため、昨年度設置した女性活躍推進懇話会を引続き実施し、連携を強化した取り組みを行った。また、昨年度は市民フォーラムを開催し、本市の現状と課題等を共有し女性活躍のための全体的な市民意識の向上を図ったところである。今年度は、本市においては20-59歳の女性就業率が7割を超えているが、平均賃金や管理職比率は男性と大きな差がある状況の中、女性自身の意識啓発を図り、多様なチャレンジを支援するようなフォーラムを開催した。
5. 事業効果及び効果検証の概要	酒田市女性活躍推進懇話会において、関係機関等と連携し事業を実施した結果、本市の実情を共有すると共に次年度以降の官民が連携した施策へとつなげることが出来た。また、市民フォーラムを開催したことにより、女性活躍を推進する機運が高まってきている。事業効果については、同懇話会の中で検証し、本市の次年度の施策に反映した。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	実施計画書で設定した目標値のうち、結果を把握できる項目においては、数値の改善が見られる項目もある。今後も、随時把握している本市の実情に合った施策を官民連携して引続き実施していく。
7. 今後の課題	本市において女性活躍を推進するために課題として挙げられたものは、事業主の意識改革、働く女性自身の意識改革、家庭や地域の意識改革と意識啓発に関するものが最も大きい。意識啓発は簡単に進むものではないが、懇話会において、関係機関始め官民連携して実施していく必要がある。
8. 事業の実施体制	酒田市女性活躍推進懇話会(国(ハローワーク酒田)、県(庄内総合支庁)、酒田商工会議所、荘内銀行、子育て支援団体、女性農業者団体、中小企業診断士、東北公益文科大学、有識者等)で協議の上、実施した。

9. 経費の内訳 (単位:円)

事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付金 予算年度	総事業費 (A=B+C+D)	本交付金 (B)	他の寄付金等 (C)	自己資金 (D)	備考
①	酒田市女性活躍推進事業	(1)	30年度当初 予算	30年度予算	817,051	408,000		409,051	
	合計				817,051	408,000	0	409,051	

10. 担当者名及び連絡先	担当者氏名:酒田市地域創生部地域共生課 阿部 典子 連絡先 電話: 0234-26-5612 E-mail: chiiki-kyosei@city.sakata.lg.jp
---------------	---

11. 事業実施及び連携工程	様式4-2-1に記載
----------------	------------

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-2-2と整合性をとって記載してください。  
 注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)から選択してください。  
 注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「29年度補正予算」、「30年度当初予算」、「30年度補正予算」のいずれかを記載してください。  
 注4)「9. 経費の内訳」の交付決定事業について、「29年度予算」、「29年度補正予算」、「30年度予算」のいずれかを記載してください。  
 注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。  
 注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

事業実施及び連携工程表

市町村名:山形県酒田市

1. 事業実施工程表

事業番号	個別事業名	実施内容	事業目標(アウトプット・アウトカム)	実施時期													
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①	酒田市女性活躍推進事業	市民フォーラムを開催し、女性活躍を推進する。	市民フォーラム参加者数118人(アウトプット)					●懇話会				●市民フォーラム				●懇話会	

2. 連携工程表

事業番号	事業・取組名(実施主体)	事業・取組内容	交付金事業との連携内容	交付金事業との連携													
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①	産業振興まちづくり推進事業(酒田市)地方創生推進交付金活用	産業振興まちづくりセンターを開設し地元のニーズとシーズをマッチングすることにより産業振興、農商工連携、女性活躍促進を目指す。	女性活躍支援員を配置し、事業主に向けて女性活躍の意義の啓発等を行い、事業主側への浸透を図る。	●産業振興まちづくりセンター開設													
			女性自身の意識啓発のためのミニ講演会(約80人参加(予定含む))を開催し、フォーラムに加えて女性のチャレンジ支援の取り組みを推進した。								●ミニ講演会		●ミニ講演会	●ミニ講演会			

※2. 連携工程表には、交付金事業と連携する同一団体内で行われる事業・取組(他の国の交付金等を利用する場合は明記)、他の連携主体(協議会を構成する民間団体等)や他の地方公共団体の事業・取組を記載してください。

※適宜、行を追加してください。

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分) 個別事業

市町村名:山形県酒田市

事業番号	①
1. 個別事業名	酒田市女性活躍推進事業
2. 実施期間	平成30年4月17日 ～ 平成31年3月4日
3. 総事業費	817,051 円
4. 事業内容	<p>女性活躍を推進するため体制整備や環境整備を総合的に進める。 ①女性活躍推進事業/女性活躍を推進するためには、市のみならず国、県、経済団体等官民一体となって本市の現状を共有しながら効果的な事業を協議し、実施していく必要がある。そのため、昨年度設置した女性活躍推進懇話会を引続き実施し、連携を強化した取り組みを行った。また、昨年度は市民フォーラムを開催し、本市の現状と課題等を共有し女性活躍のための全体的な市民意識の向上を図ったところである。今年度は、本市においては20-59歳の女性就業率が7割を超えているが、平均賃金や管理職比率は男性と大きな差がある状況の中、女性自身の意識啓発を図り、多様なチャレンジを支援するようなフォーラムを開催することにより、本市の女性活躍に直接的に資するものとした。</p>
	<p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 国(ハローワーク酒田)、県(庄内総合支庁)、酒田市(地域創生部、健康福祉部)、酒田商工会議所、庄内銀行(開設当時山形県唯一のえるぼし企業)、関根近子氏(元資生堂顧問)等を委員とする、酒田市女性活躍推進懇話会を設置し、意見を伺いながら施策を検討し女性活躍を総合的に推進する。 具体的には、懇話会で協議しながら、市民フォーラムの内容等の検討、当日の運営に連携して取り組んだ。</p>
	<p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 周辺町の三川町、庄内町、遊佐町と庄内北部定住自立圏を形成している。協定項目として、男女共同参画推進センターの広域利用を締結していることから、女性活躍に関する各種事業(フォーラム、女性活躍専用サイトの運営)も広域事業として取り組んで広域的に効果を発揮させる。具体的には市民フォーラムの周知等に連携して取組み広く参加者を募ることが出来た。また、今年度開設した女性活躍に関する情報を網羅した専用サイトには、広域のセミナー等の情報も掲載し、広域的な効果が生まれた。</p>
	<p>・交付金事業間連携、他施策との連携 平成30年度から実施する産業振興まちづくり推進事業(地方創生推進交付金)においては、新たに開設する産業振興まちづくりセンターに女性活躍支援員を配置し、中小規模の事業所に対してきめ細かく女性活躍に対する働きかけを行うことや、起業したい女性には創業支援等具体的な支援を行うことで、本交付金事業との連携を図った。また、平日夜間に女性が気軽に参加できるようなミニ講演会を実施し、より幅広い層の女性のチャレンジ支援に連携して取り組んだ。</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	女性活躍推進懇話会を通して市民フォーラム等の活動を行ったことにより、本市における女性活躍推進の機運が高まってきている。また、懇話会においては、2年目の取り組みとなったこともあり、より本市の実情に適した連携した取り組みの必要性が上げられている。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	市民フォーラムでの目標は達成できなかったが、趣旨を同じくして連携して実施した産業振興まちづくり推進事業のミニ講演会等において、新たな層の発掘、参加、ネットワーク作りにつながっているため、総合的には目標は達成できたものと評価している。
7. 今後の課題	今年度開催した市民フォーラム等における本市の女性のアンケート等によると、女性活躍を推進するためには、活躍している方(ロールモデル)の話を聞いたり、実際にそういった方と話しをしたりする機会、場が求められていた。従って、他事業により事業主の意識啓発や家庭・地域の意識啓発を進めながら、関係機関等との連携をさらに深め、本市の実態に即した施策展開を図っていく必要がある。

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2)本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。